

大豆の生育状況(水戸市)

地域名	品種	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	これまでに講じた対策 及び今後の方針
水 戸	里のほほえみ	収穫終了	平年並	1)気象概況:大豆生育期間(6月18日～10月20日) 生育期間を通じての平均気温は平年と比較して0.2℃低く、日照時間は平年比87%、降水量は平年比115%であった。時期別にみると、7月は降雨が多く、低温寡照、8月～9月前半は降雨少なく高温多照、10月は曇雨天が多く寡照であった(水戸地方気象台観測値。平年値は直近5ヶ年の平均値。別紙に図示)。 2)生育概況 ●里のほほえみ:平年と比較して、開花期は2日遅く、成熟期は同等だった。主茎長はやや長く、主茎節数は並、分枝数はかなり多く、茎の太さは細く、全重は軽かった。結実莢数はやや多く、粗子実重、精子実重は重かった。百粒重はやや軽かった。 ●納豆小粒:平年と比較して、開花期は1日遅く、成熟期は1日早かった。主茎長はやや短く、主茎節数はやや少なく、分枝数はかなり多く、茎の太さは細かった。全重はかなり軽く、結実莢数は平年並、粗子実重はやや軽く、精子実重はやや重く、百粒重はやや軽かった。 両品種とも7月の低温寡照により徒長気味であった。その後の多照により生体重は回復傾向も見られたものの茎は細いまま推移した。百粒重は軽かったが、精子実重は両品種とも平年以上であった。これは、莢数はほぼ平年並であったものの、莢当たりの粒数が多かったためと推定される。	紫斑病・英害虫の防除を実施した。
	納豆小粒	収穫終了	1日早い		

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

品種名	開花期			成熟期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	8.3	+1	+2	10.21	-7	0	62	98	106	13.4	97	101	5.9	128	130	9.0	88	80
納豆小粒	8.10	0	+1	10.26	-10	-1	69	95	85	15.9	97	94	10.9	192	176	7.6	82	79

品種名	全重			結実莢数			粗子実重			精子実重			百粒重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (英/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	82.5	122	85	63.2	130	106	46.2	125	118	45.6	129	121	36.4	83	87
納豆小粒	66.7	97	73	174.0	102	98	35.6	89	95	35.2	91	106	9.6	79	85

耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(輪換畑圃場1年目)

4)施肥量 N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0kg/a

6)茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。

2)播種日:6月18日

3)栽植密度: 11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm 1本立)

5)平年値:平成27～令和元年の結果の平均。

7)精子実重:脱穀後ローレル選別機にかけた後、大粒6.7mm、小粒4.2mmでふるいにかかけ、残った子実の重さ。

令和2年半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)

